

【美祢市】地域ぐるみの防災キャンプ

〈ねらい〉

美祢市於福地域に台風や大雨による洪水、土石流の発生する危険性があることを想定し、避難訓練や避難所の開設に伴う受け入れ態勢の訓練を行う。

また、地域や異校種での連携を行うことで、災害時の協力や集団生活でのリーダーとしての資質を高めることをねらいとした。



実施内容

- 1 実施日時：令和2年9月18日（金）
- 2 実施場所：美祢市於福公民館
- 3 参加者：於福小学校児童26名、於福中学校生徒9名、同小学校教職員6名、同中学校教職員8名、学校運営協議会委員9名、その他実践委員7名

4 プログラム

【1日目】9月18日（金）

13:00	13:15	13:30	13:45	14:45	15:30	15:50	16:30
避難開始	受付・健康観察等	開会行事	講義・演習① 「自分の命は自分で守る」 災害ボランティア 幸坂 美彦 様	講義・演習② 避難所体験 段ボールベッド作り 非常食体験 講義・演習③ 避難所でのルール 消防本部 石津様、梨木様 防災管理室 篠田様	振り返り グループ毎に 振り返りを行い、発表する	閉会行事	解 散

5 活動の様子

《避難訓練》

コロナ禍の中、3密を避けながらの活動となりました。避難の心得や留意点を確認し粛々と避難を行いました。また、出発時の受け入れ先への電話連絡や途中誘導者との連携は逆に密に行いました。



（出発前の人員確認）



（危険回避のため自転車を押して移動）



（見守り隊も参加）

《避難所受け入れ態勢》

避難先での人員確認後、感染症拡大防止のための検温や健康観察を行いました。また、避難所に誰が所在するのか把握するため、避難者確認作業も行われました。



（到着時の人員確認）



（非接触による検温）



（避難所での避難者確認作業）

《講義・演習① 自分の命は自分で守る》

災害ボランティアの幸坂先生から、災害の定義や命を守る行動についてご講義いただきました。「自助・共助・公助」の中でも自助・共助が占める割合が高く、平時の備えや地域での人間関係の重要性を教えてくださいました。また、人間の心理として、都合の悪い情報を過小評価する傾向があり、災害による被害を大きくしてしまうことがあるとのことでした。



(災害とは…)



(防災対策で大切なこととは?)



(命を守る体勢のとり方)

《講義演習② 段ボールベッド作り》

美祢市総務課防災危機管理室 篠田様のご指導により、実際に、市で災害時に使用する段ボールベッドを提供していただき、組み立てをすることになりました。基本的に大人は口や手を出さず、児童・生徒が相互に協力しながら完成できるよう見守りました。

途中難しい作業もありましたが、何度も説明書を見直したり、組み立てなおしたりしながら完成させました。思いの外強度があり、みんなで驚きの声を上げていました。



(部品の数や仕組みを確認)



(本当にこれでいいのかなあ?)



(完成したベッドの寝心地は?)

《講義演習③ 非常食体験・避難所でのルール》

災害時の避難では個人の生活空間から急遽、他者との生活空間を作らなければなりません。また、災害の被害にあうかもしれないという、ストレス状態での生活では、通常感じる以上の不安やイライラを抱えてしまいます。そのような状態をいかに緩和するかが、避難所でのルールづくりとなります。特に避難生活が長期化すれば、物品が不足し、不満も募ります。どのように折り合いをつけ、お互いが安全に避難するかを学びました。

避難するうえで欠かせないのが、食事です。アルファ米の非常食の試食を体験しました。

想像以上に味付けや食感がよく、中には何度もお代わりをする児童・生徒もいました。



(避難所での過ごし方)



(増水し、景色が一変!)



(食べる、寝る、出すが大切です)



(お湯を注いで15分で完成)



(おいしいです~)

《振り返り》

グループ毎に分かったり学んだりした事を振り返り、今後どのようにしていきたいかをまとめました。その中で、災害への対応や自助・共助の為には日ごろの人とのつながりが重要ということをも再認識することができました。



(中学生がリードして、みんなの意見を集約しています) (自分のできることや学んだことを発表)

《児童生徒のアンケート》

- ①災害に対する考えが深まりましたか？②「避難すること」の大切さがわかりましたか？
 - ③「自分にできること」が見つかりましたか？④避難所での生活体験が今後生かされると思いますか？
- 以上の4つのアンケートが行われました。ほとんどの参加者が、すべての間で良好な回答を得ることができました。

【児童・生徒の感想から】

- サイレンは知らせる災害ごとに音が分かれていて、意識して聞いてないと何を知らせているのかわからなかったけど、今日の体験でいい勉強になった。
- 今日の学習で、自分だけ災害にあわないことはないということがよく分かった。この講義をいかして、ちゃんと安全な対応を取りたいと思いました。家に帰ったら、家族にもしっかり伝えて、災害への知識をもってもらいたいと思いました。
- 段ボールベッドが意外と簡単に組み立てられて、しかも丈夫なので驚きました。
- 靴をそろえていつもの場所に置くだけでも、非常時への備えになると知り、早速実行しようと思いました。また、自分は大丈夫などと変な先入観にとらわれてはいけないと思いました。
- 何かあって慌てるのではなく、日常生活から気を付けなければならないと思いました。また、近所づきあいが大切なんだと思いました。
- 災害は一人では防げないと分かりました。だから日ごろからの地域とのかかわりが大切と思いました。もし、災害にあうようなことがあっても、この体験を生かして速やかに行動できるようになりたいです。
- 今日の講習で自分の命は自分が守ることが大切と改めて知ることができました。避難するとき、近所の人と「近助」することが大切なので、家でもいろいろな話をしたいと思います。
- 「多くの命を助けるための行動」がよくわかりました。自分だけでなく、家族や近所がお互いに声を掛け合うことから始められるのだと思いました。
- 実際に体験することで、より理解が深まり、みんなで考える良い機会になったと思います。災害時の最善の行動が大切だと分かったので、日頃から気を付けたいと思います。
- 話をよく聞けました。本当に災害があったら、勉強したことを全部守りたいです。
- もし災害が起こったら、となりの人に一声かけて避難するようにしたいです。お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒にどこに避難するか・家族の誰が何を持つかなどを話し合うことも命を守ることに繋がると分かりました。
- もし自分が避難所に行ったら、言われたことに気をつけ、避難所のルールを守りたいです。
- 今日は段ボールベッドや非常食の体験をしました。避難と防災のことを詳しく知りました。
- これからももし何かあったら、今日の避難訓練を生かして避難したいです。いつ何が起きてもいいように準備をしておきたいです。前の台風のときは準備をしておいたのでよかったです。自分の命は自分で守ります。

- 防災キャンプをして、避難のときには静かに行動することが大切だと思いました。分かったことは、頭の守り方は顔も頭も守れるようにするという事です。段ボールベッドを作ってみたら、結構じょうぶでした。
- 段ボールベッドを作ったけれど、私は眠れるかなと不安に思いました。でも災害が起きたら、そんなわがままなことは言えません。災害は起こってほしくないけれど、起きたときのことを考えて、訓練しておくことが大事だと分かりました。段ボールでさえベッドになるので、日頃から使えそうな物を考えて工夫することが大事だとも思いました。
- 今後、水深が1m以上のときには外に出ないようにしたり、笛を吹いて命を守ったりしたいです。
- 今日避難訓練をして静かに行動できたとし、お話を避難の仕方でも勉強できました。段ボールベッドを班で協力して作れたと思います。最後のご飯がとってもおいしかったです。
- ぼくの住んでいる所は災害の少ない所だけど、万が一に備えて今日学んだことを生かして命を守りたいです。特に土砂災害に気をつけたいです。
- 本当に水害が起きたら、今日の勉強を生かして急いで逃げたいです。段ボールベッドを班のみんなで作れたのでよかったです。
- 公助、共助、自助、近助があることが分かった。段ボールベッドの組み立て方を知ったので、本当の時に生かしたい。
- 災害警報などが出て避難しなければならない時には、近くに住んでいる人に一声かけて避難所に行くことを忘れないようにしたいです。段ボールベッドは意外と簡単に作れて、実際に寝てみると寝心地がよかったです。災害はいつ起きるかわからないので、いつでも避難できるように非常食などを準備しておきたいです。
- 自分は大丈夫などと思ったら命の危険につながるので、思わないようにしたいです。避難することは大事だということもわかりました。段ボールベッドは簡単に作れました。
- 避難所の物は独り占めじゃなくみんなで使うのが大切だとわかりました。もし、本当に災害が起きたら、みんなと仲よく避難生活をしていきたいです。
- 学校から公民館まで静かに避難することができたので、よかったです。非常食体験をしてみて、想像以上においしかったのでびっくりしました。放送が鳴ったら、あせらず落ち着いて避難すること・自分の命は自分で守るということが大切だと改めてわかりました。
- 防災キャンプをして、土砂災害などが起きた場合は、まず先生に言われたとおり「自分の命は自分で守る」ことをして、自分を守ったら、ちゃんと人数はいるか・けが人はいないかなど簡単なことはしたいです。
- 地震があったときの頭の守り方は、顔も守るようにすることが新しくわかったので、これを生かしていきたい。避難所体験では、今までやったことのないことを体験できたのでよかったです。
- 防災キャンプで学んだことをこれから気をつけたいです。
- 段ボールベッドを作ったのが難しかったです。
- 段ボールベッドを作るのが楽しかったです。学校から公民館に行くまでに、みんな黙って車に気をつけて歩いていました。
- これからも「自分の命は自分で守る」を大切にしていきたいと思いました。火災などのときは、きちんとハンカチで口をふさぐことや、地震のとき、すぐに物の下に入って頭を守ることなどが大切だとわかりました。この防災キャンプでたくさんを知りました。これらのことを覚えておきたいです。
- 話してもらったことを忘れず行動したいです。避難所に行ったときは、避難所のルールを忘れずに、まわりの人の迷惑にならないように気をつけたいです。
- 防災キャンプでわかったことや大事だと思ったことを忘れず、今後につなげていけるようにしたいです。非常食を初めて食べたのでうれしかったです。